



北海道内社会福祉協議会
イメージキャラクター
ほっとちゃん

地域福祉のための情報誌

社協だより

幸せな社会

赤い羽根共同募金に
みんなで募金しました！
大切につかってください！

もくじ

- ②③ 社協の事業計画と予算
- ④ 江別市社会福祉基金について
- ⑤ 寄付報告、地域貢献・社会貢献
- ⑥ 生活福祉資金、シエスタ開催結果について
- ⑦ ボランティア活動保険のご案内など
- ⑧ ボランティア掲示板



わくわく中央保育園の子どもたちが募金を持って来てくれました！

※令和5年度の共同募金の実績は折り込みをご覧ください。



QRコードを読み取って
社協ホームページへ

発行

社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236

ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>

メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2024

4月

No. 213

「幸せな社会」は、点字版やCD(音声)版もあります(社協事務局までお問い合わせください)

社協の「事業計画と予算」

「事業推進方針」

第4期地域福祉実践計画（以下、「計画」という。）

期間内においては、新型コロナウイルス感染症の流行や自然災害の多発、世界各地での紛争、それらに起因する原油や農産物価格をはじめとした物価高騰など、生活を脅かす事態が次々と起こりました。

社協では、生活困窮に関連する相談が大幅に増加し、想定をはるかに上回る貸付金の申請があったほか、感染症の拡大に伴い対面での活動が主であったボランティア活動や、地域での交流事業等において、規模の縮小や中止を余儀なくされる中、非接触型ボランティアの創出やICTの活用を進めるなど、新たな取り組みを模索しながらの事業展開となりました。

一方、令和5年度においては、このような状況にも少しずつ回復の兆しがみられるようになり、福祉の支援を必要とする方や地域住民に対し、相談事業をはじめ各種制度を活用しながら、生活維持または生活の質の向上に向けた活動を再開し始めたほか、権利侵害を未然に防ぐための、成年後見制度の利用促進や地域連携ネットワークの構築に努めてまいりました。

令和6年度は、計画の集大成となる最終年を迎えるにあたり、引き続き地域社会や福祉の動向を見極めながら、市民、行政、関係機関・団体などと連携・協働して、地域共生社会の実現に向けた取り組みを着実に進め、計画の基本目標である『暮らしの安心を支える地域福祉』を目指し、事業の推進を図ってまいります。

令和6年度は、計画の集大成となる最終年を迎えるにあたり、引き続き地域社会や福祉の動向を見極めながら、市民、行政、関係機関・団体などと連携・協働して、地域共生社会の実現に向けた取り組みを着実に進め、計画の基本目標である『暮らしの安心を支える地域福祉』を目指し、事業の推進を図ってまいります。



事業計画

第4期地域福祉実践計画の基本計画として令和6年度実施事業の概要をご紹介します。

基本計画1

地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

○広報活動による福祉情報の提供

▼社協だよりの発行、ホームページの運営

○生活課題に対応した総合的な相談支援

▼くらしサポートセンター

えべつ運営による生活困窮者への相談支援、ひきこもり状態にある方への状況に応じた社会参加に向けた支援、中間的就労など相談者の適性を考慮した就労支援対策

▼日常生活自立支援事業

による福祉サービス利用援助や金銭管理のサポート

▼江別市成年後見支援センターの運営、法人後見事業の実施による成年後見

基本計画2

基本計画2
ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

制度の相談支援と総合的な権利擁護支援の実施、任意後見の実施

▼生活安定のための貸付金を活用した相談支援

▼ボランティアによる日常生活上の悩みごとへの相談支援

▼生活支援体制整備事業の実施による「通いの場」づくりへの相談支援と情報提供

基本計画2

ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

○市民がボランティア活動に積極的に取り組めるように支援し、地域福祉の担い手として活動する環境づくりを推進

▼ボランティアセンターの運営（ボランティアの登録・派遣・団体活動費助成・活動交通費補助・ボランティア保険の加入など）

▼江別市ボランティア団体連絡会の運営

○研修事業などを通して、ボランティア活動を担う市民の育成・確保

▼ボランティア活動者研修の開催

令和6年度社協イベント情報（予定）

▶ 江別ふれあい福祉の広場：7月21日（日）10時～／福祉センター及び周辺／ふれあいバザー、屋外セレモニー、社会福祉功労者顕彰、共同募金助成金交付式など実施予定

▼傾聴ボランティアの育成
(養成研修・スキルアップ
研修の実施)

▼ボランティア愛ランド北
海道2024 in えべつ
(ボランティア活動者の
全道大会)の開催

基本計画3

市民参加で進める地域
での生活支援や交流活
動の促進

○高齢者や障がい者が住み
慣れた地域で安心して暮
らすことを目的とした自
治会の助け合い活動を支
援

▼愛のふれあい交流事業
(活動費助成・ボランティア
保険料助成など)

○共同募金委員会との協
働

▼江別市共同募金委員会事
務局として共同募金運動
を展開、生活困窮世帯に
歳末見舞金品を贈呈

○市民と福祉団体が交流
できるイベントを開催

▼江別ふれあい福祉の広場
の開催

○企業・団体の地域貢献活
動への支援

▼社会貢献活動や地域行
事へ活動用品(テント・パ
ネル・机・椅子等)を貸出

基本計画4
体験学習・研修による福
祉意識の醸成

○市民が福祉に関心と理
解を深めることを目的
とした体験学習・研修を
開催

▼地域福祉活動者研修会の
開催

▼いきいきシニアスクールの
開催

○青少年に高齢者や障がい
者と交流できる機会や活
動体験のできる場を提供
ワークキャンプの開催

▼総合的な学習の時間への
福祉体験用具(車いす・ア
イマスク・高齢者疑似体
験セットなど)の貸出や
協力先紹介、職員派遣の
実施

基本計画5
自立した生活を支援する
福祉サービスの提供

○高齢者や障がい者が、冬
期間安心して暮らせるよ
うに除雪サービスの実施
と民間の雪処理情報を
提供

▼福祉除雪サービスの実施
▼除雪派遣サービスの実施
▼えべつ雪の処理情報誌の

発行
○食事の支度が困難なひと
り暮らし高齢者などへの
配食

▼給食サービスの実施
○障がいにより移動が困難
な方の社会生活上必要
な外出介助のためガイド
ヘルパーを派遣

▼移動支援事業所リフレえ
べつの運営

○福祉機器の貸与

▼福祉機器貸与事業の実施
○農村地域などの保育が
必要な児童の子育てを支
援
▼北光保育園の運営

基本計画6
地域に信頼される社協運
営のための組織づくり

○組織のガバナンス強化や
透明性の向上に努め、地
域福祉の推進役としての
役割を発揮し、市民から
信頼されるよう運営

▼第4期江別市地域福祉計
画(市計画)との連携・調
整により事業を推進

▼自主財源の確保や経費の
効率化などによる財源基
盤の整備

▼合同部会で地域福祉実践
計画を評価・計画の進行
管理

令和6年度資金収支予算書 (単位:千円)

サービス区分	令和6年度	令和5年度	比較増減
法人運営事業	78,053	89,988	△ 11,935
社会福祉基金運営事業	16,318	11,792	4,526
調査・研究事業	1,160	235	925
広報事業	6,222	6,213	9
顕彰事業	76	143	△ 67
江別ふれあい福祉の広場事業	877	947	△ 70
ボランティアセンター事業	5,953	5,716	237
住民福祉推進事業	263	287	△ 24
愛のふれあい交流事業	7,852	7,859	△ 7
給食サービス事業	36,376	37,380	△ 1,004
福祉除雪サービス事業	51,522	47,878	3,644
除雪派遣サービス事業	4,936	3,856	1,080
福祉機器貸与事業	363	502	△ 139
生活困窮者自立支援事業	22,827	809	22,018
生活支援体制整備事業	6,291	5,748	543
移動支援事業	5,779	5,529	250
成年後見支援事業	20,496	17,795	2,701
福祉サービス利用援助事業	1,210	952	258
共同募金配分金事業	4,500	4,362	138
生活福祉資金貸付事業	11,287	9,004	2,283
福祉金庫貸付事業	4,716	5,975	△ 1,259
総合社会福祉センター運営事業	30,749	30,530	219
北光保育園運営事業	30,609	26,464	4,145
合 計 A	348,435	319,964	28,471
内部取引相殺額 B	△ 14,376	△ 9,541	△ 4,835
相殺後合計 (A - B)	334,059	310,423	23,636

予算

▼保育園に冷房設備の経費、除雪関連事業に利用者増加を
見込んだ予算を措置しています。

▼江別市避難行動要支援
者個別避難計画の作成支
援
▼地域の生活課題に関する
アンケート調査から、次
期実践計画を策定

▼総合社会福祉センターの
運営管理



愛のふれあい交流事業 社協では自治会が行う福祉の助け合い活動を応援します。【愛のふれあい活動】ひとり暮らし高齢者
などへの安否確認活動に年額1万円を助成、保険料助成。【地域交流の集い活動】高齢者などのために実施する交流事業へ
1事業につき1万5千円(年5回まで)を助成、交通費助成、保険料助成。詳細は、社協 ☎ 385-1234

「江別市社会福祉基金」に関するごあんない

～「寄付」で支援。社会福祉基金は社協の活動を支える大切な財源です～

江別市社会福祉基金は、社協が行う様々な事業に活用し、地域福祉の推進を図ることを目的に昭和57年に創設されました。趣旨に賛同いただいた市民の皆様や、団体・企業様からの寄付金を積み立て、その寄付金または預金した寄付金から生じる利息等を事業に充当しています。

皆様からは、「(社協活動の)趣旨に賛同して」、「チャリティーパーティーの益金として」、「●周年記念パーティーでの益金として」、「企業の社会貢献活動として」、「香典返しにかえて」、「●●事業の活動資金に」などのご寄付のほか、江別の福祉のためにと「遺贈(遺言により、ご自身の財産の一部または全部を特定の個人や団体に贈与すること)」によるご寄付をいただいております。

【令和4年度寄付実績】 1,802,077円

【寄付金のつかいみち】

ふれあい福祉の広場開催経費／ボランティア保険料／ボランティア活動費用弁償費／ボランティア団体活動経費／ボランティア養成経費／除雪派遣サービス経費／地域福祉実践計画作成経費など



ご寄付には、窓口での受付をはじめ、下記に設置している募金箱に入れていただく方法等があります。

身近なまちで暮らす方々のために…。皆様からのあたたかいお気持ちをお待ちしています！

「社会福祉基金募金箱」の設置にご賛同いただいている事業所様

江別地区	野幌地区	大麻地区
道央農業協同組合江別支店	あおい	大麻出張所
セイコーマート豊幌	道央農業協同組合野幌支店	大麻体育館
マキシド・ルパ	北海道信用金庫野幌支店	大麻公民館
北海道信用金庫五丁目支店	片山内科胃腸科医院	池永クリニック
青年センター	コミュニティストア山田	ホクレンショップ大麻北町店
林数男商店	早川薬院7丁目店	
清美湯	東野幌体育館	
松乃湯	パークゴルフ練習場	
ホクレンショップゆめみ野店	煉化もち本舗	
工業団地簡易郵便局	北海道消防学校	
	オーケードライクリーニング	

いつも
ありがとう





善意のご寄付、ありがとうございました

令和5年12月1日

令和6年2月29日

(敬称略・順不同)

社会福祉基金

▼趣旨に賛同して

フレンドサークル

10,000円、

匿名10,000円、

匿名3,000円

▼チャリティ・イベン

トの益金・売上など

江別フオーダンスサー

クル32,397円

▼組合創立六十周年記念

野幌料飲店組合

100,000円

一般寄付金

▼事業活動資金として

一般財団法人北海道信

用金庫ひまわり財団

100,000円



▼趣旨に賛同して

江別友の会20,000円、

匿名20,000円、菅原

真知子1,600円、

株式会社ふれあいファ

ームのつ30,000円

▼チャリティ・イベン

トの益金・売上など

江別美術協会

54,900円

地域貢献・社会貢献のカタチ



江別建設業協会様
高齢者宅除雪

社協は「地域に貢献したい」の架け橋になります！

～生活にお困りの方や、社会福祉施設の皆様のためにといただきました～



JR北海道江別駅様

飲料水19箱



角山開発様

食料品(インスタント・レトルト食品等)



カーブス野幌店様・大麻駅前店様

食料品(米・缶詰・レトルト食品等)



北海道コカ・コーラリテール&

ペンディング様
飲料水10箱

◎寄付等に関する税制上の優遇措置について

江別市社会福祉協議会へのご寄付は、税制上の優遇措置(寄付金控除)が受けられます。

●個人の場合(所得税法第78条該当)

確定申告をすることによって、寄付金控除を受けることができます。

口座振込の場合、領収書の発行を希望される方は、社協総務係宛にご連絡ください。

●法人の場合(法人税法第37条第1項及び第4項該当)法人税法上の損金算入ができます。

※詳しくはお近くの税務署や税理士等にご確認ください。

◎ご寄付をいただいた方は

広報誌「幸せな社会」に氏名・団体名・寄付額を掲載します。(非公開も可能)

生活福祉資金

コロナ特例の償還について

各市区町村の社協では、都道府県社協が実施する生活福祉資金貸付の窓口を担っています。特に、新型コロナウイルスの影響で減収した世帯向けのコロナ特例貸付(令和4年9月末に終了)では、江別市社協は総額10億円を超える貸付申込みを受け付けてきました。

コロナ特例貸付では、利用者の多くが償還(返済)開始時期を迎えています。収入減少状態が続く償還が困難な場合は、左記の方法がありますのでご相談ください。

【償還免除】

返す必要がなくなります。免除申請が認められるには、いずれかの条件にあてはまっている必要があります。

- ・住民税が非課税である場合
- ・生活保護を受給した場合
- ・障害者手帳が交付された場合(身体障害1級・2級、精神障害1級、療育手帳重度)
- ・12ヵ月以上滞納し、その後分納または少額償還をしている世帯、かつ住民税「所得割」が非課税の高齢者のみの世帯

【償還猶予】

返すことを待ってもらいます。猶予申請が認められるには、いずれかの条件にあてはまっている必要があります。

- ・地震や火災などで被災した場合
- ・病気療養中の場合
- ・失業又は離職中の場合
- ・他の借入金の償還猶予を受けている場合
- ・自立相談支援機関から償還猶予が適当であるとの意見書が提出された場合
- ・都道府県社会福祉協議会会長が償還することが著しく困難と認める場合



☎ 385-1234 担当:地域福祉係

ひきこもり当事者・ご家族向けの居場所 「シエスタ」開催結果

～体験談や趣味の話で交流～



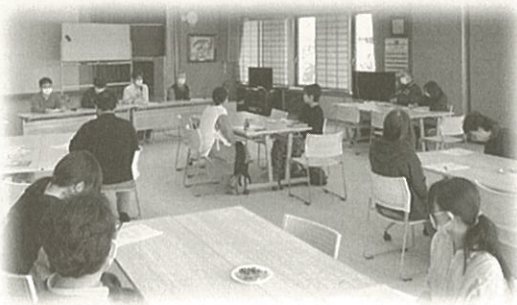
社協(くらしサポートセンターえべつ)では、札幌を拠点にひきこもり支援活動を行うNPO法人レター・ポストフレンド相談ネットワークと協働で、ひきこもり当事者やそのご家族の居場所づくり事業として、令和元年度から「シエスタ」を開催しています。

令和5年度は8月から12月までの期間中全9回開催し、参加者から要望があつた午前中開催や土曜日開催を行ったところ、毎回20名前後と大変多くの方々にご参加いただくことができました。

ひきこもり経験を有するピアスタッフ(当事者・ご家族)から経験談をもとにした話題提供をしていただいたあと、参加者同士が自由に交流を楽しめる時間を設けました。また、家族が近くにいると話づらいという気持ちに配慮し、当事者会と家族会を別室で行うなど、工夫しながら開催しました。

参加者からは「同じ境遇にいる人と話せて安心しました」「ピアスタッフの体験や知見から貴重なお話を聴かせて頂くことができ本当に良い学びになりました」などの感想が寄せられたほか、来年も継続して開催してほしいとの声も寄せられました。

今後も「シエスタ」は、皆さんが安心して参加でき、有意義な時間を過ごしていただけるよう、開催に向けて準備を進めていきたいと思います。



損害保険・生命保険代理業



商号: 有限会社イー・エス・オフィス

〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1



地域に密着した保険専門店

保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】 平日9:00～18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

☎ 0120-74-0433

江別の皆様とともに 地域の発展に貢献します

EPA 江別印刷業協同組合

事務局 〒067-0031 江別市元町32番地2 笹岡印刷(株)内
TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(有)ア・ノ研究社	笹岡印刷(株)	(株)のっぽろ印刷
	(有)トラスティプリント	藤塗装工業(株)	(有)山田印章印刷
	アスカ印刷	〈賛助会員〉(有)くらしの新聞社	

貸付資金 社協では、各種貸付事業を行っています。貸付条件などの詳細はお問合せ下さい。【特別生活資金】燃料費など冬の生活費、限度額5万円、連帯保証人必要 【教育支援資金】高校入学などの入学金や授業料、民生委員による調査有、他制度利用を優先 【福祉金庫】一時的な生活困窮時の生活費、限度額4万円、連帯保証人必要

◎ボランティアによる悩みごとと電話相談◎

社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聞きします。

【相談無料】 ☎389-7830

相談日	相談時間	相談名・内容	担当団体名
毎週 火曜日	10時～15時	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別家庭生活カウンセラーグループ
第2・4 水曜日	10時～14時30分	にこにこ相談室 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会
毎週 木曜日	10時～15時	認知症の悩みごとと相談 ▶ 認知症の悩みごとに関する相談	江別認知症の人の家族を支える会
第1・3・5 金曜日	10時～14時30分	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会

4月29日(月)
5月6日(月)

休館日 (4月～6月)

※月曜日が祝日の日は、休館します。火曜日曜日は、祝日も開館しています。

月曜日 9時～17時
火曜日 9時～21時

開館日時

福祉センター開館・休館のお知らせ

令和5年12月、令和6年2月
江別市おもちゃ図書館クリスマスお楽しみ会、令和5年度石狩地区ボラネットスキルアップ研修会、新年交礼会、江別市高齢者クラブ連合会新年交礼会、江別市母子会新春の集い、江別市遺族会新年会、令和6年江別地区保護司会新年交礼会、江別市防災会議・江別市水防協議会合同会議、令和5年度北海道社会福祉協議会地域部会代議員総会、江別市社会福祉審議会、江別市外郭団体情報交換会、第26回江別耳の日記念集会

社協会長 おじゃましました

給食サービスのご案内

栄養バランスのとれた夕食(週1回以上)をお届けします。
対象条件等は社協までお問い合わせ下さい。

4月から 1食 600円



ボランティア活動保険のご案内

【加入対象】

ボランティア活動に取り組む個人など

【補償内容】

活動中のボランティア自身のケガ及び他人の物を壊したり怪我をさせたことによる損害賠償責任を補償します

【補償期間】

加入申込完了翌日から令和7年3月31日まで

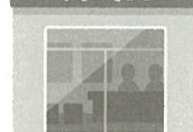
【保険料】

1名あたり(年間)

◎基本プラン 350円

◎天災・地震補償プラン 500円

保険



※補償内容・補償金額はホームページ(「ふくしの保険」で検索)または社協備え付けのパンフレットでご確認ください。

紙・事務用品・オフィス家具
OA 機器・学校教材

(有) **カク**

江別市高砂町 10 番地(市役所横)
電話代382-2553・FAX385-7878

医) 英生会 野幌病院 JR野幌駅前

野幌病院 地域医療相談室	TEL 381-2643
介護老人保健施設 老健のっぽろ	TEL 381-1133
老健のっぽろ通所リハビリテーション	TEL 381-1177
在宅介護相談えつ 英生会ケアプランセンター	TEL 381-8858
訪問看護ステーション のっぽろ	訪問看護科 TEL 381-7877
	訪問リハビリテーション科 TEL 381-1193
英生会グループホーム ゆめみの	TEL 391-3119
小規模多機能ホーム ゆめみの	TEL 391-3229
江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業)	TEL 389-5420

社会福祉法人 英寿会

『英生塾』 受講生募集!!

「安心・安全・地域と共に」をスローガンに
“頑張る人”を応援致します

- 介護職員初任者研修(昼間・夜間通学コース)
- 介護福祉士実務者研修(9・11・2月度コース通信課程)

英生塾事務局

〒069-0832
江別市西野幌92番地16
電話 (011) 375-7757
FAX (011) 375-7767
(お気軽にお問い合わせ下さい)

英寿会 事業所

特別養護老人ホーム えぞりすの杜	☎887-6333
地域密着型介護老人福祉施設かつこうの杜	☎391-9111
ショートステイくまげら	☎391-9111
小規模保育施設 ふくろうの森	☎398-5568
小規模保育施設 ぞうさんハウス	☎384-2280
小規模保育施設 あかとんぼの森	☎398-9234

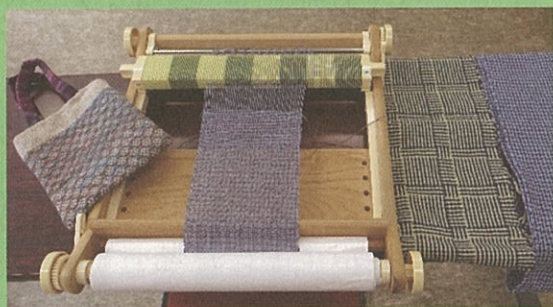
社協会費 江別市社協が行う地域福祉活動は、皆様からの会費で支えられています。個人、施設、団体、法人の皆様にも会員になっていただき、社協事業へのご理解とご協力をお願いしています。社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

ボランティア掲示板

生活支援体制整備事業

江別市内の通いの場情報！地域の活動を紹介します

野幌さきおり会



開催日時 第1・第3金曜日
13時00分～15時00分
場所 野幌公民館（野幌町13-6）
参加費 3,000円/月
連絡先 電話 384-9085（代表・平野）

「野幌さきおり会」では、卓上織機を使って様々な織物をつくっています。“さきおり”と言っても、布を裂いて織り込むという意味だけではなく、糸を使用するので色や素材によって、より多様な表現ができます。

講師の宮部さんは、「さきおりの魅力は、自分だけの作品ができあがること。手仕事が好きな人は楽しめると思う。」と語ります。自宅で一人だけの趣味として手仕事をしていた方も、会員の方々との出会いに一步踏み出してみませんか？

最初は簡単なマフラーづくりから始まり、慣れてきたら完成した織物をバッグやクッションなどに加工したり、さらに熟練になると雪の結晶など細かな模様を織り込んだタペストリーを作成したりすることもできるそうです。

未経験の方も大歓迎！1～2週間前までに連絡すると、コースター程度の大きさの織物がつくれる体験セットを用意してくださるとのことです。今年11月頃には、マフラーづくりの体験会も、2回にわたって開かれる予定です。

江別市ボランティア団体連絡会

ボランティア会員団体を紹介します

江別市赤十字奉仕団



問い合わせ先：江別市赤十字奉仕団
佐藤分団長 電話 383-9018

江別市赤十字奉仕団は、1959年2月18日に赤十字の「博愛人道の精神」に基づき、実践を通して日本赤十字社の行う事業・社会福祉事業・社会公共のための活動に、自らの時間と労力と能力を奉仕しようと市内各層の婦人団体の代表者が発起人となり、14名の団員で発足し、今年で65年が経ちました。

現在、江別・野幌・大麻の3分団で91名の団員が各団体からの依頼を受け、チョットの空いている時間にボランティアとして参加・協力し、多くの出会いに感謝しながら“笑顔で元気”をモットーに活動しています。

時代の流れとともに活動の内容が変化してきましたが、主な活動として献血車の支援、災害時の義援金募金、ふれあいバザー、保育園児の靴下の編み物、こども・地域食堂、市民記念植樹、平和祈念の祈り鶴の寄贈、慈善バザー等にボランティアとして参加しています。

団員の高齢化により参加者も減少しています。みなさん、一緒に活動しませんか。いつでも歓迎します。



編集後記

新しい年度を迎え、異動や転勤、入学など慌ただしくお過ごしの方も多いのではないのでしょうか。
2月に記録的な高温になったり、急に寒くなったり、寒暖差が激しかったり、インフルエンザに加え新型コロナウイルスの波がまたやってくるなど、体調が崩れやすくなっています。くれぐれもご自愛ください。
今月号は新年度のスタートにあたり、江別市社会福祉協議会の令和6年度の事業計画と予算、寄付やボランティア保険の案内などを掲載しております。
地域における福祉活動の拠点として社協の役割は年々大きくなってきており、様々な情報を皆様にお伝えしていかなくてはなりません。
「幸せな社会」は、どんな見やすくなってきたらいいと好評をいただいております。これからも充実した内容をお届けできるよう発行してまいります。

広報編集委員会委員

成田 裕之

赤い羽根共同募金は、社協だよりも役立てられています

